

インターネット上の商取引やコミュニケーションを考える

キーワード

ネット商取引、コミュニケーション、CtoC

概要

インターネットでの商取引が広く行われるようになってきました。昨今では、個人間の取引を行う、いわゆるネットフリマのサービスも広い世代で活用されるようになってきました。これまでのBtoCでなくCtoCのやりとりになるため、子どもたちもいち消費者としての立場だけでなく、売る側の立場にたつこともあります。正しく活用すれば、便利で楽しいものですが、気を付けなければいけないこともあります。

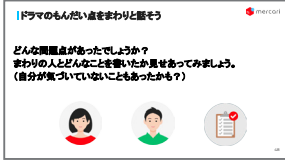
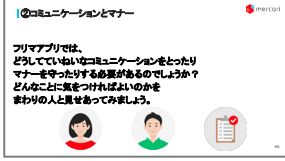

授業では、ネットでの個人間の取引について知ってもらい、問題が起きてしまう事象を映像で見ることで、考えさせる内容になっています。その後、自分だったらどのように活用していくか考えていきます。

ねらい

- ・インターネット上での商取引での気を付けるべき点について理解する。
- ・インターネット上のコミュニケーションでは、悪気が無くてもトラブルになる可能性があることを理解する。
- ・インターネット上での商取引では、単なる一消費者ではなく、ネット社会を構成する一員としての態度が必要であるとする。

指導案

時配	全体の動きと学習内容	指導上、留意する点	資料・備品など
7分	<p>1. 導入</p> <p>○フリマアプリ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒がどのようなインターネットアプリやスマホアプリを使用しているか聞く。 ・近年、インターネット上でフリーマーケットのように個人間で商取引できるフリマアプリのサービスがあることを伝える。 ・フリマアプリの説明を映像で実施。エスクロー決済など独自の仕組みも解説 	<p>●フリマアプリの利用経験について、生徒に聞いてもよい。</p>	 <p>フリマアプリは、売りたい人と買いたい人をつなげる市場のような場所です</p> <p>取引の流れ</p> <pre> graph TD Buyer[購入者] -- ① 支払い --> Seller[出品者] Seller -- ② 発送 --> Buyer Seller -- ③ 入金通知 --> Buyer Buyer -- ④ 受取通知 --> Seller </pre>
10分	<p>2. 学習課題の把握と映像視聴</p> <p>○本時の課題を把握する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリマアプリを題材にインターネット上でコミュニケーションをすることについて考える授業であることを伝える。 <p>○ドラマ教材について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドラマ教材の中では、いくつか問題が発生する。どのようなことが問題だったのか見つけながら視聴するように伝える。 <p>○ドラマ教材を視聴する（7分）</p>	<p>●誰にでも起こり得る問題だということを伝えても良い。</p> <p>●ワークシートにメモしながら見ても良いことを伝える。</p>	 <p>3つのことをいっしょに考えていきます</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ドラマを見ながらどんな問題をさがしましょう ②コミュニケーションとマネーについて考えよう ③インターネットでのお金や物のやりとりに気をつけること

<p>10分</p>	<p>3. 問題点を話し合おう！</p> <p>○問題点を話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ問題点をみつけ、最初は個人でワークシートに書くよう指示する。 ・グループで、問題点を話し合わせる。 ・グループでどんな意見が出たか、全体に発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ドラマのあらすじを振り返るスライドを見せてから考えさせてもよい。 ・話し合う中や全体の発表で他の問題点を考えついたら、書き足すように指示する。 	
<p>10分</p>	<p>4. インターネット上でのコミュニケーションを考える</p> <p>○コミュニケーションを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ丁寧なコミュニケーション（マナーを守る）が必要なのか考えさせる。 ・買う側と売る側の立場でそれぞれ考えるように伝える。 <p>○話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは、個人でワークシートに記入する。 ・グループで、問題点を話し合わせる。 ・グループでどんな意見が出たか、全体に発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分が気づかなかった意見が黒板に書き出されたら、ワークシートに書き加えるようにさせる。 	
<p>10分</p>	<p>5. インターネット上での商取引について考えよう</p> <p>○インターネット上でのお金やもののやりとりについて考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔の見えない相手との取引やコミュニケーションは実際の店舗での売買とは異なり、ちょっとした言葉づかいや認識の違いで予期しないトラブルに発展してしまう恐れがあることを伝える。丁寧なやりとりをすることでお互いに気持ちよくコミュニケーションが取れることを伝える。 <p>○時間があれば、何名かに発表させる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●最新のトラブル事例などを紹介してもよい。 ●これからも様々なサービスがどんどん出る可能性がある中で、自分との付き合い方を客観的に考えさせる。 	
<p>3分</p>	<p>6. まとめ</p> <p>○インターネットではこれからも様々なサービスが出てくること、インターネットの新しいサービスで社会やコミュニケーションの在り方が変わることがあること、メルカリも単なるサービスではなくアプリを通して、循環型社会の実現を目指していることを伝える</p> <p>○ネット社会を構成する一員としての態度をそれぞれ考えてほしいと伝える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●自分が気づかなかった意見が黒板に書き出されたら、ワークシートに書き加えるようにさせる。 	